

大阪府特殊詐欺対策審議会 (第一回)

～特殊詐欺等被害の現状について～

令和6年8月20日
大阪府庁災害対策本部会議室

～目次～

- 「特殊詐欺被害の現状」について 1
- 手口別認知件数について 3
- 手口別被害金額について 4
- 主な手口別被害金額の推移（過去5年）について . . 5
- 特殊詐欺（オレオレ詐欺）について 6
- 特殊詐欺（還付金詐欺）について 7
- 特殊詐欺（架空料金請求詐欺）について 8
- SNS型投資・ロマンス詐欺被害の現状について . . 9
- 被害者保護のための対策（案）について 10

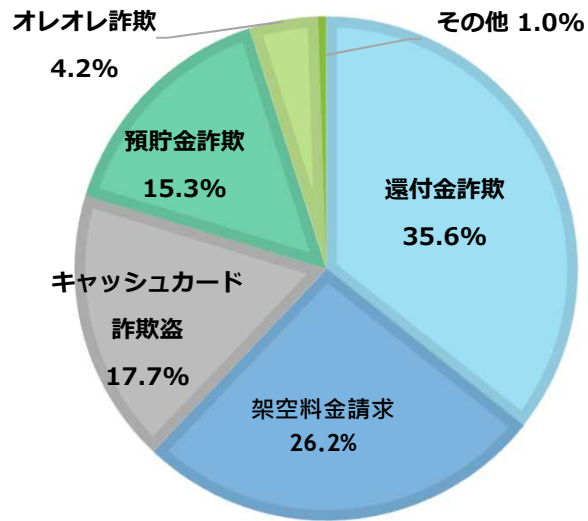
「特殊詐欺被害の現状」について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

大阪府下の特殊詐欺認知件数と被害額の推移



手口別認知件数割合 (令和5年中)



全国比較 (令和5年中)

※警察庁公表資料

認知件数合計 (全国) 19,038件

合計被害額 (全国) 446億8,602万4,000円

被害件数上位の嚴重注意地域

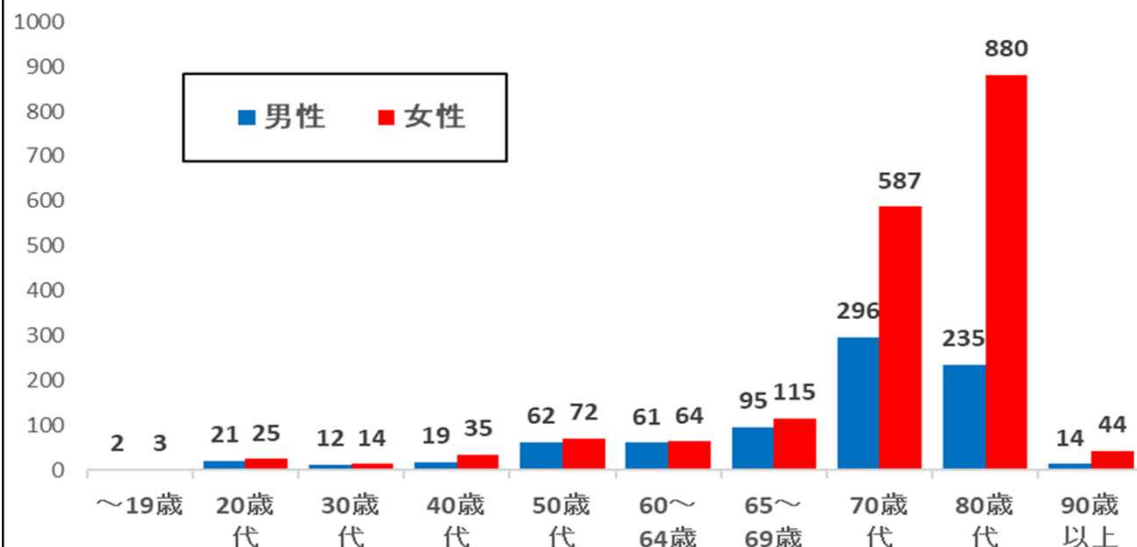
1位: 東京2,918件、**2位: 大阪2,656件**、3位: 神奈川2,025件

手口		認知件数	被害総額
還付金詐欺	大阪	948件 (全国ワースト1)	9億6,486万円 (全国ワースト1)
	東京	588件 (全国ワースト2)	9億4,899万円 (全国ワースト2)
架空料金請求詐欺	大阪	701件 (全国ワースト1)	10億4,577万円 (全国ワースト2)
	東京	449件 (全国ワースト3)	20億4,539万円 (全国ワースト1)
キャッシュカード詐欺盗	大阪	468件 (全国ワースト1)	5億5,979万円 (全国ワースト1)
	東京	347件 (全国ワースト2)	4億251万円 (全国ワースト2)

「特殊詐欺被害の現状」について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

被害者の年代別・男女別（令和5年中）



65歳以上の高齢者が占める割合（令和5年中）

特殊詐欺全体 **85%**

◆ オレオレ詐欺	65%
◆ 預貯金詐欺	99%
◆ 架空料金請求詐欺	61%
◆ 還付金詐欺	93%
◆ キャッシュカード詐欺盗	99%

被害の多い手口（例）

- ① 自宅の固定電話に電話を掛けて、言葉巧みにだましてA T Mに誘導し、**携帯電話でA T Mの操作方法を指示しながら振込**をさせる手口（還付金詐欺や架空料金請求詐欺等）
その際に、**複数回にわたって振込限度額まで振込を行わせる**こともあり、中には数日間にわたって振込をさせる場合もある。
- ② 様々な手口で被害者からキャッシュカードや通帳をだまし取るなどして、入手したキャッシュカード等で**A T Mから引出限度額まで現金を引き出す**手口（キャッシュカード詐欺盗や預貯金詐欺等）
- ③ パソコン画面上のポップアップや携帯電話等に電話を掛けるなどして、被害者をだまして、サポート名目等で被害者をコンビニ等に誘導し、**プリペイド型電子マネーを購入させ、同カードの番号を聞き出す**などする手口（架空料金請求詐欺）

手口別認知件数について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

手口別認知件数

※令和4,5年は確定値、令和6年は速報値

認知件数	令和6年 (6月末)	令和5年 (6月末)	増 減		令和5年中	令和4年中	増 減	
			件数	増減率			件数	増減率
特殊詐欺全体	1,309	1,491	-182	-12%	2,656	2,064	592	+29%
オレオレ詐欺	117	61	+56	+92%	117	117	0	-
預貯金詐欺	45	240	-195	-81%	408	328	+80	+24%
架空料金請求詐欺	365	387	-22	-6%	701	275	+426	+155%
融資保証金詐欺	10	5	+5	+100%	7	11	-4	-36%
還付金詐欺	620	543	+77	+14%	948	984	-36	-4%
金融商品詐欺	7	2	+5	+250%	3	1	+2	+200%
交際あっせん詐欺	1	0	+1	-	0	1	-1	-
ギャンブル詐欺	1	0	+1	-	0	3	-3	-
その他の特殊詐欺	23	0	+23	-	4	0	+4	-
キャッシュカード詐欺盗	120	253	-133	-53%	468	344	+124	+36%

※令和5年から架空料金請求詐欺にサポート名目詐欺を計上

- 令和5年中の手口別認知件数においては、還付金詐欺（全体の約36%）が最も多く、次いで架空料金請求詐欺（全体の約26%）が多い。
- 還付金詐欺については、固定電話対策や「ストップ！ATMでの携帯電話」運動、各種広報啓発等を実施するも令和6年6月末現在において特殊詐欺全体の約半数を占めるなど、早急な対策が必要である。

手口別被害金額について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

手口別被害金額

※令和4,5年は確定値、令和6年は速報値。被害金額は、千の位を切り捨てた額を示す。

※被害金額は、キャッシュカード手交型及び窃取型の特殊詐欺におけるＡＴＭ引出（窃取）額を含む。

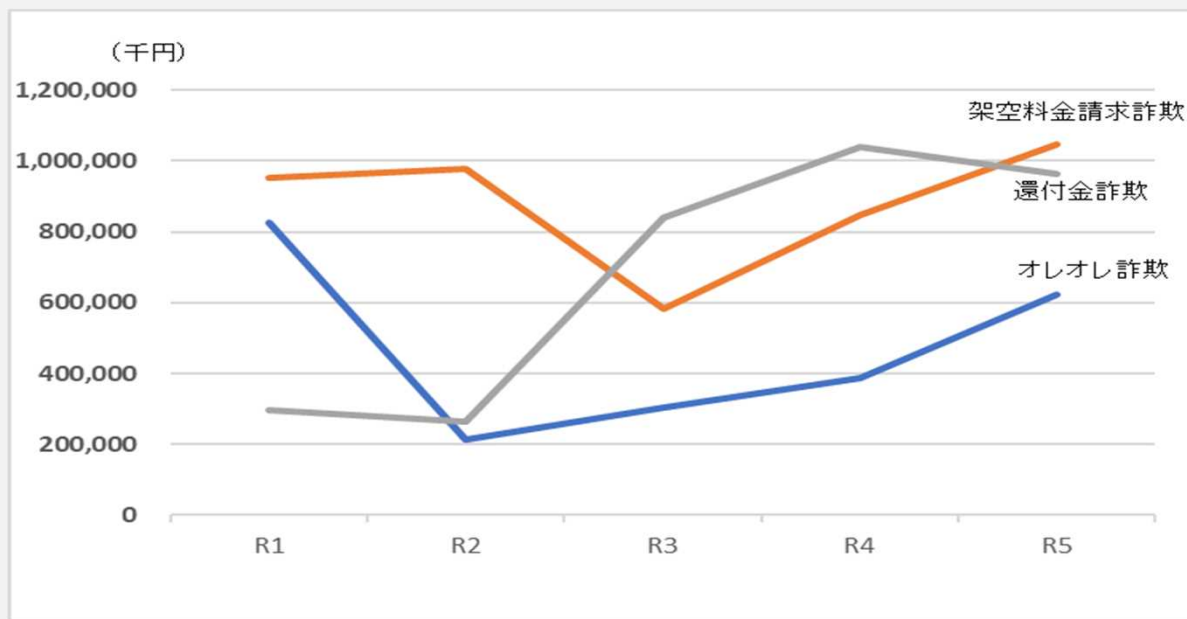
被害金額(円)	令和6年 (6月末)	令和5年 (6月末)	増 減 (千円)	増減率	令和5年中	令和4年中	増 減 (千円)	増減率
特殊詐欺全体	26億7,643万	18億8859万	+7億8,784万	+42%	36億6,140万	31億8,614万	+4億7,525万	+15%
オレオレ詐欺	8億20万	2億325万	+5億9,695万	+294%	6億2,121万	3億8,801万	+2億3,320万	+60%
預貯金詐欺	2,537万	2億231万	-1億7,694万	-87%	4億1,666万	3億8,817万	+2,848万	+7%
架空料金請求詐欺	6億9,798万	5億8,374万	+1億1,423万	+20%	10億4,577万	8億4,828万	+1億9,748万	+23%
融資保証金詐欺	1,045万	1,247万	-202万	-16%	1,535万	2,187万	-651万	-30%
還付金詐欺	8億180万	5億2,255万	+2億7,925万	+53%	9億6,485万	10億3,874万	-7,388万	-7%
金融商品詐欺	5,592万	1,965万	+3,627万	+185%	2,455万	2,700万	-245万	-9%
交際あっせん詐欺	10万	0	+10万	-	0	1,015万	-1,015万	-
ギャンブル詐欺	1,288万	0	+1,288万	-	0	1,150万	-1,150万	-
その他の特殊詐欺	1億1,133万	0	+1億1,133万	-	1,320万	0	+1,320万	-
キャッシュカード詐欺盗	1億6,037万	3億4,460万	-1億8,422万	-53%	5億5,979万	4億5,240万	+1億738万	+24%

- 被害金額の大半が、「オレオレ詐欺」「架空料金請求詐欺」「還付金詐欺」の三手口であり、令和6年上半期では、「オレオレ詐欺」と「還付金詐欺」の発生が急増している。
- 令和5年の統計では、「オレオレ詐欺」と「還付金詐欺」の被害者は、いずれも65歳以上の高齢者が半数以上を占めていることから、**特に高齢者に着目した対策が必要**である。
- 令和6年になり、**ネットバンクからの振込も急激に増加**していることから、ネットバンクに対する対応も検討が必要である。

主な手口別被害金額の推移（過去5年）について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

主な手口別被害金額の推移（令和元年～令和5年）



過去5年の被害金額の推移においては、還付金詐欺は高止まりしており、その他においても年々増加の一途をたどっている。

なお、オレオレ詐欺については、認知件数自体は少ないものの、被害金額は増加しており、1件当たりの被害額が高額になっている傾向がある。

被害金額(円)	令和元年中	令和2年中	令和3年中	令和4年中	令和5年中
特殊詐欺全体	25億1,847万	22億4,806万	24億1,440万	31億8,614万	36億6,140万
オレオレ詐欺	8億2,651万	2億1,530万	3億386万	3億8,801万	6億2,121万
還付金詐欺	2億9,666万	2億6,383万	8億4,075万	10億3,874万	9億6,485万
架空料金請求詐欺	9億5,424万	9億7,759万	5億8,319万	8億4,828万	10億4,577万

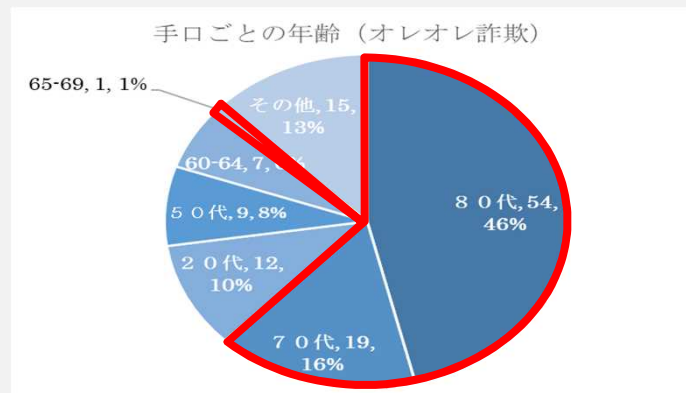
※被害金額は、千の位を切り捨てた額を示す。

特殊詐欺（オレオレ詐欺）について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

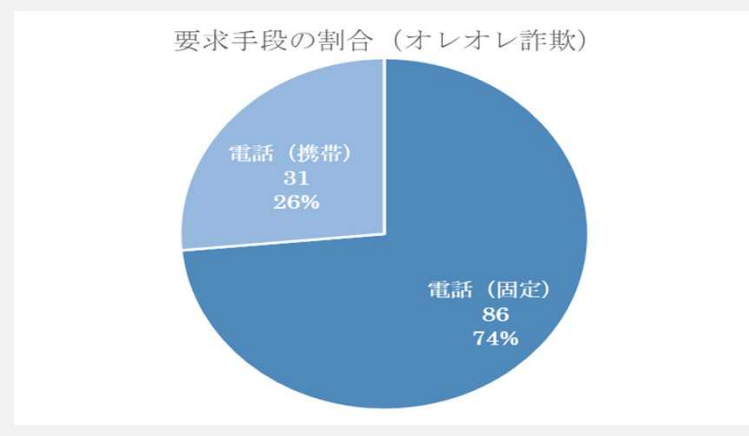
被害年齢の割合（R5年中）

年齢別では、80代が46%と最も多く、次いで70代が16%と続き、65歳以上の高齢者の割合は6割以上を占めている。



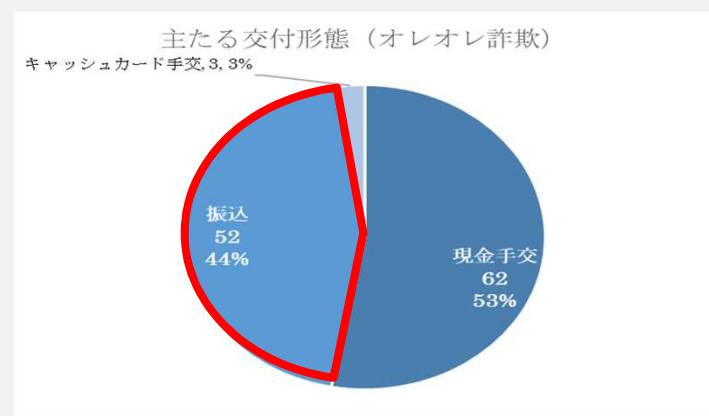
要求手段（R5年中）

要求手段は、74%が固定電話で、26%が携帯電話である。



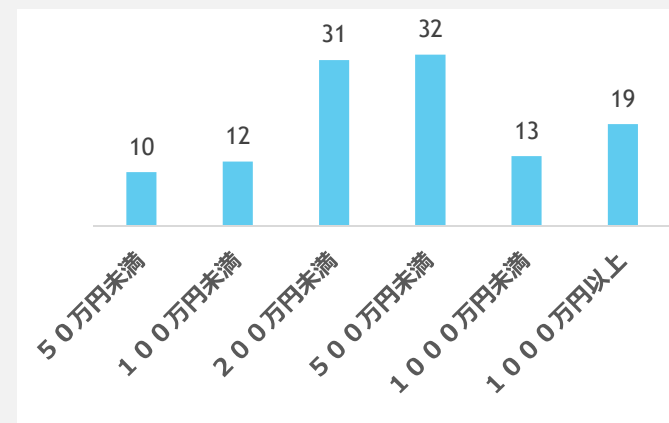
主たる交付手段（R5年中）

主たる交付手段は、現金手交が53%、次いで振込が44%となっている。



被害金額の分布（R5年中）

金額では、200万円未満、500万円未満の被害の割合が半数以上を占めている。



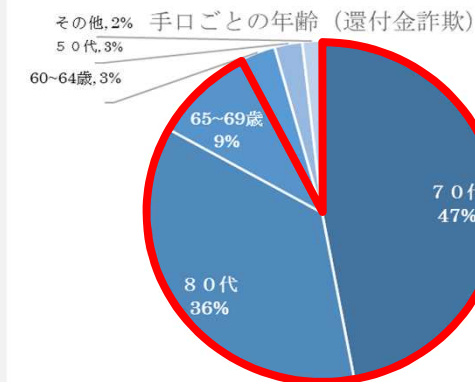
※本ページの統計は、手集計数値のため、確定値と異なる場合があります。

特殊詐欺（還付金詐欺）について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

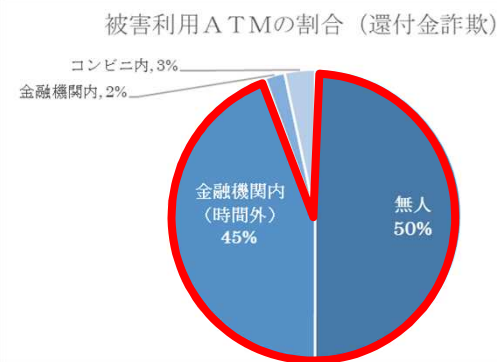
被害年齢の割合（R5年中）

年齢別では、70代が47%と最も多く、次いで80代が36%と続き、65歳以上の高齢者の割合は93%を占めている。



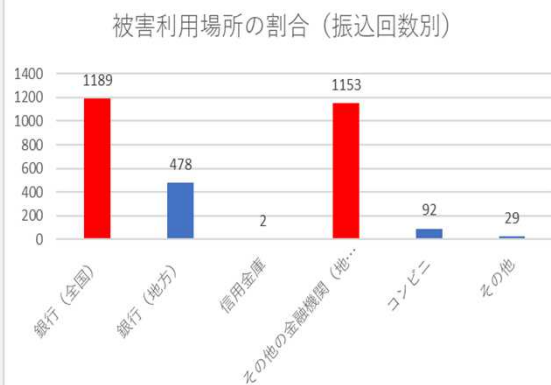
主たる交付手段・被害利用A T Mの割合（R5年中）

主たる交付手段は全て振込による交付である。振込の際の被害利用A T Mについては、無人A T M（金融機関内の営業時間外も含む）が95%である。



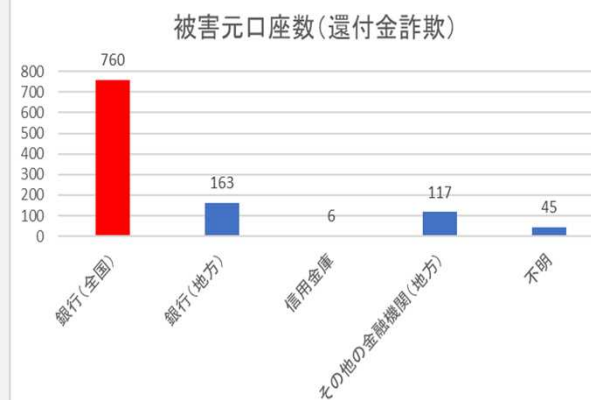
被害利用場所（R5年中）

被害利用場所（振込回数別）は、銀行（全国）、その他の金融機関（地方）が多く、全体の約8割を占める。



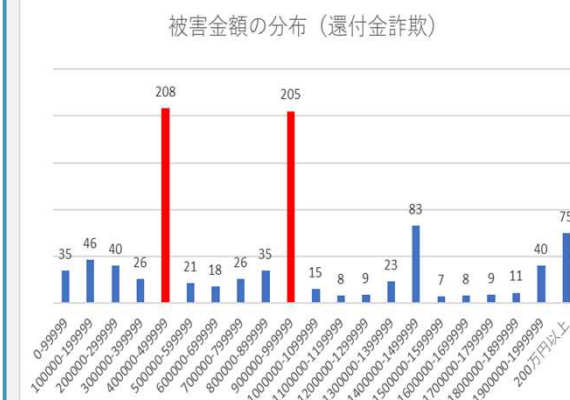
被害元口座（R5年中）

被害に利用された口座は銀行（全国）の口座が多く、振込制限を行っている信用金庫での被害は少ない。



被害金額分布（R5年中）

振込上限額ギリギリの40～49万円、90～100万円の被害が突出して多い。



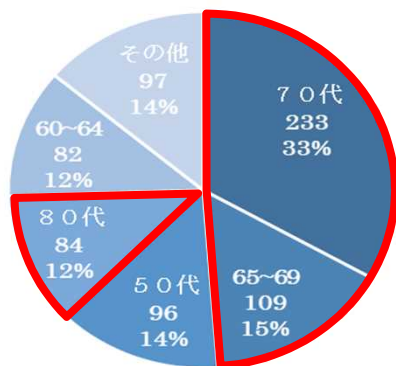
※本ページの統計は、手集計数値のため、確定値と異なる場合があります。

特殊詐欺（架空料金請求詐欺）について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

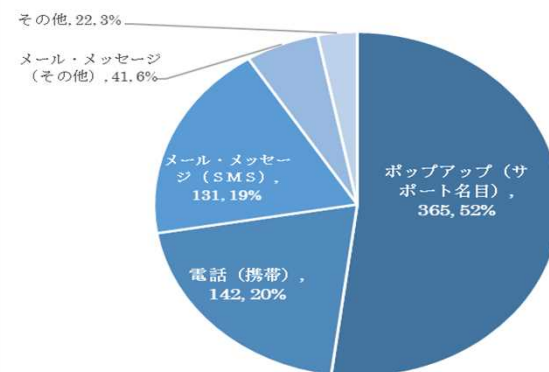
被害年齢の割合（R5年中）

年齢別では、70代が33%と最も多く、65歳以上の高齢者の割合は60%を占めている。



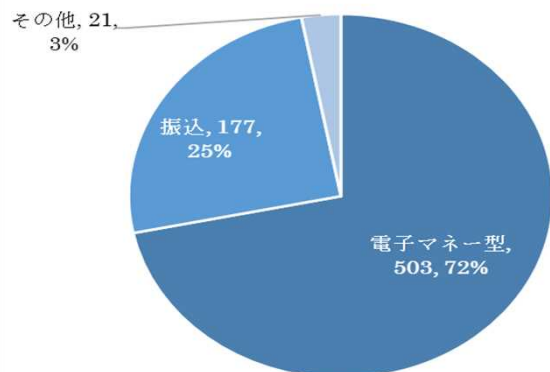
要求手段（R5年中）

要求手段は、パソコン画面上にポップアップを表示させたり、携帯電話やメールなど多岐に亘っている。



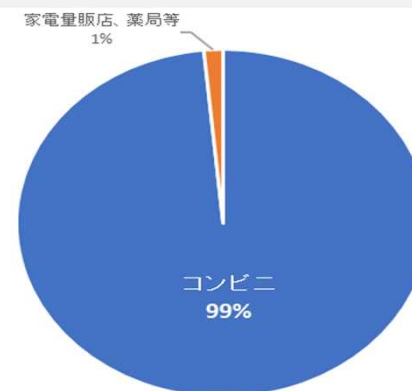
主たる交付手段（R5年中）

主たる交付手段は、電子マネー型が72%、次いで振込が25%となっている。



プリペイド型電子マネーの割合（R5年中）

被害者がプリペイド型電子マネーを購入した延べ回数は2,743回。
コンビニエンスストアが99%、家電量販店・薬局等が1%。



※本ページの統計は、手集計数値のため、確定値と異なる場合があります。

SNS型投資・ロマンス詐欺被害の状況について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

SNS型投資・ロマンス詐欺被害認知件数及び被害金額（令和5年中）

※令和5年は確定値、令和6年は速報値。
※被害金額は、千の位を切り捨てた額を示す。

「SNS型投資・ロマンス詐欺」とは、SNS等を通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により金銭等をだまし取るもの	認知件数	被害金額
	SNS型投資詐欺	256
	ロマンス詐欺	163
	合 計	419
		31億8,156万
		17億2,062万
		49億219万

SNS型投資・ロマンス詐欺被害認知件数及び被害金額（令和6年6月末）

認知件数	令和6年 (6月末)	令和5年 (6月末)	増 減 (件数)	増減率
SNS型投資・ロマンス詐欺全体	477	137	+340	+248%
SNS型投資詐欺	389	66	+323	+489%
SNS型ロマンス詐欺(投資名目)	54	-	-	-
SNS型ロマンス詐欺(その他のロマンス名目)	34	71	-37	-52%

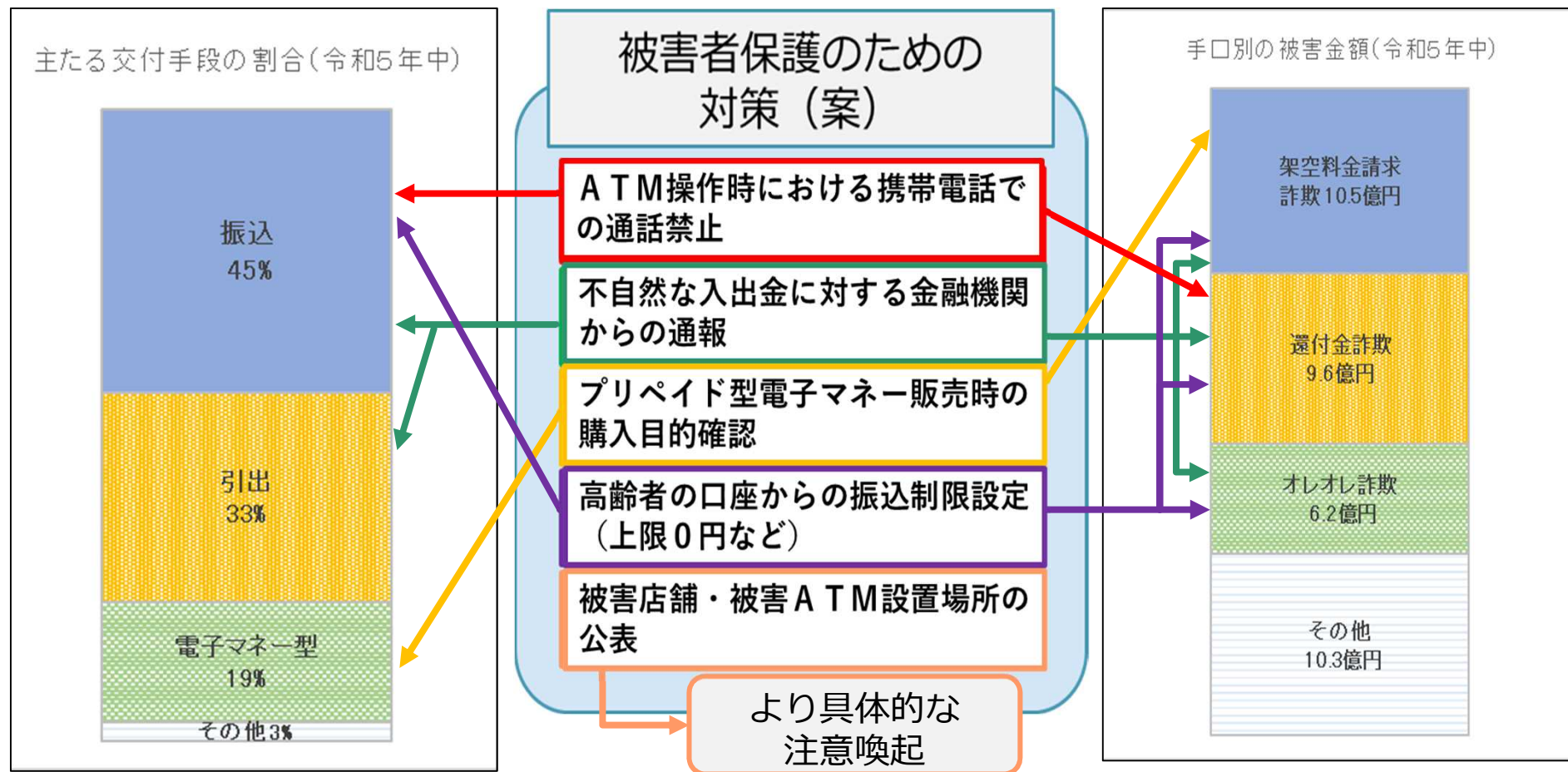
被害金額(円)	令和6年 (6月末)	令和5年 (6月末)	増 減 (千円)	増減率
SNS型投資・ロマンス詐欺全体	57億2,774万	14億657万	+43億2,117万	+307%
SNS型投資詐欺	48億6,412万	8億88万	+40億6,323万	+507%
SNS型ロマンス詐欺(投資名目)	7億4,153万	-	-	-
SNS型ロマンス詐欺(その他のロマンス名目)	1億2,2209万	6億568万	-4億8,359万	-80%

主たる交付手段別の振込回数及び被害額（令和6年5月末）



被害者保護のための対策（案）について

令和6年8月20日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料



- 上記4項目の取組において、特殊詐欺全体での「主たる交付手段」のうち、97%を占める「振込」「引出」「電子マネー型」の特殊詐欺に対して抑止効果があるものと考えられる。
- また、被害金額が多い上記3手口に対しても各項目の取組において、抑止効果があるものと考えられる。
- 加えて、被害店舗等の公表により、今まで以上に具体的な注意喚起が可能となるため、特殊詐欺全体に対する抑止効果が考えられる。